

粕屋町行政評価委員会 意見書

令和5年11月29日

粕屋町行政評価委員会

令和5年11月29日

粕屋町長 箱田 彰 殿

粕屋町行政評価委員会

会長 中 島 邦 彦

粕屋町行政評価委員会におきまして、粕屋町行政評価委員会設置要綱第2条に基づき、町が実施した令和4年度の行政評価について、外部の視点で評価を実施し、その結果を取りまとめましたので、次のとおり報告し、意見書を提出いたします。

本委員会では、第5次粕屋町総合計画後期基本計画に基づく施策について、令和4年度における取り組み、評価結果等の概要を事務事業シート及び質疑応答により確認し、重点プロジェクトのうち、安全・安心プロジェクト、魅力・誇り向上プロジェクトの対象事業である次の6事業について、主に点検・調査・審議を行い、各委員による評価を行いました。

- ・ 災害対策事業（協働のまちづくり課）
- ・ 防犯対策事業（協働のまちづくり課）
- ・ 駕与丁公園魅力向上事業（都市計画課）
- ・ 歴史文化財活用事業（社会教育課）
- ・ 高齢者福祉事業（介護福祉課）
- ・ かすやこども館運営管理事業（子ども未来課）

重点プロジェクト	安全・安心プロジェクト
事務事業名	災害対策事業
担当部署	総務部 協働のまちづくり課
事業目的	○住民の自助・共助意識を高め、地域防災力を向上することにより、住民の安全で安心な暮らしを守る。
実施方法	○防災月間・防災の日における防災に関する意識・知識の向上啓発と自主防災組織の活動支援（防災講座・避難訓練・助成金の交付）による地域防災力の向上。 ○令和4年度は、制度改正に伴う防災マップの改訂を行う。

1. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）	
① 施策実現への取り組みが行われているか？	
着実に取り組まれており評価できる	0%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	100%
取り組みが不十分であり対策が必要である	0%
取り組みがなされていない	0%
② 施策の実現に向かって、進捗しているか？	
計画以上に進んでいる	0%
計画どおり順調に進んでいる	67%
進んではいるが、スピードが遅い	33%
進捗が見られない、または後退している	0%
(2) 内部評価の妥当性について	
適切	56%
概ね適切	44%
要検討	0%
無回答	0%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、「取り組まれているが、まだ改善の余地がある」という評価が100%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 現状の把握や課題の認識が正しくなされ、取り組まれている。成果や効果が住民にとって期待する水準に達しているかは不明である。
- ・ 「講座」の開催について、行政区からの申請という、いわば「待ち」の姿勢だけでなく、親子で参加する講座を企画したり、学校での講座を開催したりするなど、より積極的な姿勢も必要かもしれない。
- ・ 防災講座は全行政区が参加できるようにフォローして頂けると達成率が上がると思う。防災マップは更新もされているので良いと思う。
- ・ 防災講座や防災訓練などの参加者が少ない。いつでも災害に対応できるように、町全体の防災訓練や定期的な防災訓練を行っていただきたい。
- ・ 自主防災組織は、行政区が中心となる必要があるため組織化されていない区があるのも仕方ないが、防災講演会の開催頻度を増やすなど、コロナ禍以降の本格的な再開が待たれる。
- ・ 行政区によって活動頻度に差があることは改善が必要だと感じる。

② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、「計画どおり順調に進んでいる」という評価が67%、「進んではいるが、スピードが遅い」という評価が33%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 出前講座等、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出ているが、これから順次再開されると聞き、今まで以上の取り組みが期待される。
- ・ 地域支援者が決まっている割合が少ない。行政区・民生委員などと話し合い、さらなる取り組みや抜本的な改革を行ったほうが良い。
- ・ 災害時は混乱が起こることが想定され、地域支援者をしっかりと決めておかないと自力で避難できない方は取り残されてしまう可能性が高い。

(2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」という評価が56%、「概ね適切」という評価が44%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 行政単独での改善が難しい課題については共助の面を啓発できるような視点も必要ではないか。
- ・ 防災に対する住民意識の改善と行政区の活性化に取り組んでほしい。

- ・ 自主防災組織が設置されていない行政区もあるが、どこの地区も高齢化は進行しているため、意識向上を図ってほしい。
- ・ 情報公開などで難しい時代だが、障がい者などのご家族が地域と情報共有しなければ先に進めない。まず身近なところから開始するように強く働きかけをしてほしい。

(3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ 避難行動要支援者の取り組みは、現在でも発災時にすみやかに避難させることは困難だと思う。改善のために国、県へ働きかけていくべきものと思料する。
- ・ 住民は行政に期待するが、何もかも行政では対応が困難になるのではないか。逆に、「行政はここまでしかできませんよ」と周知することがあってもいいのではないかと思った。
- ・ 女性視点での避難所の運営や防災ハンドブック作成などの取り組みを盛り込んでほしい。

2. 本事業に係る外部評価のまとめ

令和4年度には制度改正等に対応するための防災マップの改訂など、施策実現への取り組みや進捗については、ほとんどの委員が「取り組まれている」や「順調に進んでいる」と評価した。「改善の余地がある」や「スピードが遅い」を選択した委員の意見としては、コロナ禍であったことは理解できるが、いつやって来るか分からない災害に対して防災訓練や防災講座の実績値が低いことや、避難行動支援者の地域支援者が決定している割合が少ないことに対して、具体的な対策や取り組みが見えてこない点に関する懸念を示す意見であった。内部評価の妥当性については、「適切」であるが、引き続き住民の防災意識向上が求められる。

地域支援者の確保について、個人情報公開や行政主導の限界、地域住民の理解など様々な困難があることは理解できるが、近年、頻発する豪雨災害において高齢者や障がい者に被害が集中している状況も鑑みて、国や県への働きかけなど抜本的な改善に向けて取り組んでいただきたい。

重点プロジェクト	安全・安心プロジェクト
事務事業名	防犯対策事業
担当部署	総務部 協働のまちづくり課
事業目的	○町民の防犯意識の向上、犯罪発生件数の減少と、町民の安全安心な暮らしを守るため。
実施方法	○犯罪を未然に防ぐために防犯灯の設置を行政区に促す。 ○登下校時の防犯パトロール及び見守りシステムを活用して児童生徒の安全を確保する。併せて、見守り基地局を増設し、注意喚起の看板を設置する。 ○町民の防犯意識を向上させるために、警察や防犯協会などの関係機関と連携し啓発活動を行う。併せて「ながら防犯」の普及も行う。

1. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）	
① 施策実現への取り組みが行われているか？	
着実に取り組まれており評価できる	44%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	44%
取り組みが不十分であり対策が必要である	11%
取り組みがなされていない	0%
② 施策の実現に向かって、進捗しているか？	
計画以上に進んでいる	11%
計画どおり順調に進んでいる	78%
進んではいるが、スピードが遅い	11%
進捗が見られない、または後退している	0%
(2) 内部評価の妥当性について	
適切	33%
概ね適切	67%
要検討	0%
無回答	0%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、「着実に取り組まれており評価できる」という評価が44%、「取り組まれているが、まだ改善の余地がある」という評価が44%、「取り組みが不十分であり対策が必要である」という評価が11%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 青パト巡回は頻繁に行われていて防犯に有効であり、今後も続けて欲しい。
- ・ 共働き世帯が増えた中で、見守りサービスは子を持つ親にとって、とても安心なサービスである。今後は全員が登録するように啓発を行ってほしい。
- ・ 防犯に関する啓発は各種取り組まれているが、犯罪発生件数は横ばいもしくは増加傾向にもあるため、さらなる努力や住民の意識を向上させるための取り組みはまだ検討の余地あり。

② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、「計画以上に進んでいる」という評価が11%、「計画どおり順調に進んでいる」という評価が78%、「進んではいるが、スピードが遅い」という評価が11%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 防犯パトロール、住民相談等の回数は、目標値を増やしてはいかがだろうか。犯罪発生件数は、犯罪の種類ごとに記載したほうが良い。
- ・ 公園や公民館などに基地局を設置して見守りを強化すること。
- ・ 実際に発生している犯罪の種類に応じて、重点的、優先的に取り組むべき犯罪、対象者等を検討したうえでの取り組みが一層求められよう。

(2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」という評価が33%、「概ね適切」という評価が67%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 今後も見守りシステムの更なる普及、青パトを初め、地域で安全を守っていく形を進めていってもらえるとよいと感じた。
- ・ 近隣の市町村との連携は、何か考えられないか。
- ・ 犯罪件数は、全体の犯罪件数で判断せず、まず町民にとって身近と思われる自転車盗難を中心に防犯啓発を行う等検討しては。

(3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ 青パト巡回では、特に児童・生徒が興味を持ちそうな場所に立ち寄る余裕が

必要。2名体制で巡回したほうが安全性の観点からも良いのでは。

- ・ 見守りシステムの良さは使っている保護者は納得できるものだと思う。若干の費用発生も、使ってみると不満はない。さらなる基地局の設置を目指し、積極的に取り組んでほしい。
- ・ 犯罪発生件数は、自転車盗難が減ればある程度減ると思う。ふるさと納税で、各駅の防犯カメラの設置運営費用を賄ってはどうか。
- ・ 防犯パトロールに関しては、各事案に対して警察からの助言を受けたり、行政区からの要望を受けたりするなど柔軟な対応が求められる。

2. 本事業に係る外部評価のまとめ

防犯パトロールや見守りシステムを活用した取り組みを意欲的に進められており、施策実現への取り組みや進捗については、ほとんどの委員が「取り組まれている」や「順調に進んでいる」と評価しているが、「改善の余地がある」の評価もあり、これは犯罪の発生件数の実績値が目標値に達していないことによるものであった。内部評価の妥当性については、「概ね適切である」が、犯罪の発生抑止のためさらなる取り組みを求める意見が多かった。

見守りシステムに関する評価は好評であり、小学生を中心とした保護者の安心を得るためにも今後も基地局の増設などを積極的に進めていただきたい。また、粕屋町は大型の商業施設や鉄道駅が多数あるため、犯罪の発生件数が多くなっているが、犯罪の種類を可視化し、それに応じた取り組みなどを具体化させていくことも求められる。

重点プロジェクト	魅力・誇り向上プロジェクト
事務事業名	駕与丁公園魅力向上事業
担当部署	都市政策部 都市計画課
事業目的	<p>○憩いと交流の場を提供し、また散歩やジョギング等による利用者の健康増進を図る。</p> <p>○来園者に癒しの場として喜ばれるバラ園の保全管理の継続を図る。</p> <p>○老朽化が進む施設等の点検や修繕及び樹木等の管理の日常化を図る。</p> <p>○バラ等の植替えや新たな植栽を行い施設の保全を図る。</p> <p>○魅力ある駕与丁公園、バラ園、バラまつりを通じて町づくりのPRを行い町の活性化を図る。</p>
実施方法	<p>○遊具や遊歩道や施設等の定期点検や日常点検をもとに修繕等を実施する。</p> <p>○樹木等の維持管理（剪定、消毒等）や園内の清掃を実施する。</p> <p>○バラ園等のバラの管理（剪定、消毒等）及び植栽を実施する。</p> <p>○5月のバラが満開の時期にバラまつり実行委員会と協力し、各団体参加のバラまつりを開催する。</p> <p>○継続的なイベントの開催を検討し推進する。</p> <p>○公園施設長寿命化計画に基づき、遊歩道と防護柵の改修工事を実施する。</p>

1. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）	
① 施策実現への取り組みが行われているか？	
着実に取り組まれており評価できる	44%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	56%
取り組みが不十分であり対策が必要である	0%
取り組みがなされていない	0%
② 施策の実現に向かって、進捗しているか？	
計画以上に進んでいる	11%
計画どおり順調に進んでいる	89%
進んではいるが、スピードが遅い	0%
進捗が見られない、または後退している	0%
(2) 内部評価の妥当性について	
適切	44%
概ね適切	56%
要検討	0%
無回答	0%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、「着実に取り組まれており評価できる」という評価が44%、「取り組まれているが、まだ改善の余地がある」という評価が56%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 目標が分かりやすく、項目も詳細に記載されており、着実な進捗状況である。
- ・ 四季折々の景観を楽しみながら散歩ができて心が癒される。剪定や草取り消毒など手入れが大変だと思うが、バラのボランティアの方やシルバー人材センターの方には感謝している。
- ・ 社会実験をもとにした各種イベントを実施するなど、しっかりと取り組まれているものと思われる。
- ・ キッチンカーの出店や、バラ園を活用したバラ祭りやライトアップなど公園がより町民の憩いの場になる施策ができていると思う。

② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、「計画以上に進んでいる」という評価が11%、「計画どおり順調に進んでいる」という評価が89%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で利用団体が減少している。情報発信に期待する。
- ・ 施設の老朽化対策では、実際の利用者目線を取り入れた改修（トイレなど）を検討することも必要であろう。また、公園内での事件や事故を未然に防ぐ観点をより意識することも求められよう。
- ・ 神社から子供広場手前の園路の舗装や防護柵の改修、防護柵がライトアップされ明るくなり歩きやすくなった。踏切前の駐車場、子供広場から野球のグラウンドが暗いので街灯の設置をお願いしたい。
- ・ 行楽の季節には家族連れ等で多くの人が訪れるため、ゴミは持ち帰るよう何か対策を考えてはいかがか。
- ・ 令和4年度から10年かけて改修・改築をするとあるが10年はかかり過ぎているように思う。

(2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」という評価が44%、「概ね適切」という評価が56%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ アンケート結果を添付資料としている点は、説得的である。

- ・ 細部まで課題や今後の方針を明示されており、今後に期待できる。
- ・ キッチンカーは初めて知ったが、その他のイベントの実施については、住民アンケートなどで意見を集めてはいかがだろうか。
- ・ 駕与丁公園は粕屋町を代表する公園なので、キッチンカー以外にも魅力的なイベントを増やして欲しい。

(3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ 駕与丁公園は桜も美しく、桜にまつわるイベントも追加されてもいいのではないか。
- ・ 水鳥橋の件はそのまま頓挫しているのか。

2. 本事業に係る外部評価のまとめ

令和4年度から10年間に及ぶ駕与丁公園の公園施設の再生事業を開始されてたほか、社会実験をもとにしたキッチンカーのイベントや3年ぶりとなるバラ祭りの開催など、施策実現への取り組みや進捗、内部評価の妥当性について、ほとんどの委員が「取り組まれている」や「順調に進んでいる」、「概ね適切」と評価しており、現状の把握や課題の認識が正しくなされ、取り組まれていると考えられる。

今後駕与丁公園の利用者目線を取り入れた施設整備が求められているほか、更なる魅力向上のため、住民ニーズに応えた新たなイベントや、利用団体や認知度上昇のための情報発信が望まれる。

重点プロジェクト	魅力・誇り向上プロジェクト
事務事業名	歴史文化財活用事業
担当部署	教育委員会事務局 社会教育課
事業目的	○阿恵官衙遺跡など、先人から受け継いだ文化財の保護・保全及び活用を推進し、地域の歴史に対する理解を深め、郷土愛の醸成と地域文化への高揚を図る。
実施方法	○歴史講座、企画展等を開催し、広報や町 HP で周知を図るほか、行政区、駅、周辺自治体等へポスター配布を行う。 ○阿恵官衙遺跡史跡整備基本計画の基礎図となる地形測量図を作成する。 ○阿恵官衙遺跡の公有化（用地の購入）を行う。

1. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）	
① 施策実現への取り組みが行われているか？	
着実に取り組まれており評価できる	78%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	22%
取り組みが不十分であり対策が必要である	0%
取り組みがなされていない	0%
② 施策の実現に向かって、進捗しているか？	
計画以上に進んでいる	22%
計画どおり順調に進んでいる	56%
進んではいるが、スピードが遅い	22%
進捗が見られない、または後退している	0%
(2) 内部評価の妥当性について	
適切	67%
概ね適切	33%
要検討	0%
無回答	0%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、「着実に取り組まれており評価できる」が78%、「取り組まれているが、まだ改善の余地がある」という評価が22%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 各種の講座を企画し、参加者からの評価、満足度も高いとのこと。着実に取り組まれていると評価できよう。
- ・ 小学生への出前授業など地元の歴史を学ぶ機会を設けていたことがすごく良いと感じた。
- ・ 歴史資料館にも官衙遺跡の測量図など大きなパネルを展示してほしい。粕屋町の歴史に興味を持ってもらうようなPRをされると良いと思う。

② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、「計画以上に進んでいる」という評価が22%、「計画どおり順調に進んでいる」という評価が56%、「進んではいるが、スピードが遅い」という評価が22%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 講座の回数を増やすだけでなく、内容の再検討も行って、来館者数をさらに増やすための取り組みも必要かもしれない。近隣の自治体とのさらなる連携を行って、「点」ではなく「面」でのつながりで広くとらえて、企画等を行うのも一案であろう。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で来館者が0になっているので、歴史資料館の開館の周知と宣伝をして頂ければと思う。
- ・ ポスターや広報誌など町内を歩いていると阿恵官衙遺跡のことは目につくことが多いので周知はできていると感じる。
- ・ 阿恵官衙遺跡は今後史跡整備が進められ、何年もかかる大きな事業であるが、実際の現場に来場されることで、より多くの方々に周知できるかと思う。

(2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」という評価が67%、「概ね適切」という評価が33%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 遺跡跡地の公園化に期待している。遺跡跡地公園と周囲の環境の調和も必要かと思う。
- ・ アンケート結果を添付資料としている点は、説得的である。
- ・ 歴史資料館の来館者を増やすことが課題であるが、広報等何を使ってどのくらいの頻度で集客に努めるのか明確にする必要がある。

(3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ 全国的に見ても極めて貴重な遺跡とのことなので、さらにアピールを進めてほしい。
- ・ 複数名の担当者を置き、長期的に専門的な視点を持った職員の維持を行っていかないと風化していくのではと懸念する。
- ・ 他遺跡の先進的な取り組みをしている所を参考に、長期間来館者が来るような遺跡、施設としてほしい。

2. 本事業に係る外部評価のまとめ

令和4年度は阿恵官衙遺跡国指定シンポジウムのほか、史跡整備を進めるための用地取得など、施策実現への取り組みや進捗、内部評価の妥当性について、ほとんどの委員が「着実に取り組まれている」や「順調に進んでいる」、「適切」と評価しており、現状の把握や課題の認識が正しくなされ、取り組まれていると考えられる。

新型コロナウイルス感染症の影響でこれまで歴史資料館が利用できない状況にあり、再開した歴史資料館の集客を増やすことが阿恵官衙遺跡の認知度を上げるためにも大事である。そのための周知や広報、開催する歴史講座の内容の再検討や近隣自治体と連携した企画展など、これから先来館者を取り込むための取り組みの検討を進めていただきたい。

重点プロジェクト	安全・安心プロジェクト
事務事業名	高齢者福祉事業
担当部署	住民福祉部 介護福祉課
事業目的	○高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施し、ニーズに応じた高齢者支援サービスを提供する。
実施方法	○民生委員、その他見守り協力事業者と連携し、一人暮らし高齢者の見守り活動を行う。 ○行方不明高齢者等捜してメール及び認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の普及。 ○要介護4・5の高齢者を在宅で介護している家族の労をねぎらい、手当を支給する。

1. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）	
① 施策実現への取り組みが行われているか？	
着実に取り組まれており評価できる	56%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	44%
取り組みが不十分であり対策が必要である	0%
取り組みがなされていない	0%
② 施策の実現に向かって、進捗しているか？	
計画以上に進んでいる	0%
計画どおり順調に進んでいる	89%
進んではいるが、スピードが遅い	11%
進捗が見られない、または後退している	0%
(2) 内部評価の妥当性について	
適切	33%
概ね適切	67%
要検討	0%
無回答	0%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、「着実に取り組まれており評価できる」という評価が56%、「取り組まれているが、まだ改善の余地がある」という評価が44%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 高齢者支援サービスの種類が多く、よく取り組まれていると思う。
- ・ 行方不明高齢者等捜してメールに登録してもらうためにプッシュ型の電話をかける取り組みについて評価できる。
- ・ ねぎらい手当等、各種、意欲的に取り組んでいる印象である。令和3年度、4年度と、啓発（回数）が少なかった理由が気になるころではある。
- ・ 事業によっては利用者数の増加があまり見受けられないので、周知方法、回数を検討する必要がある。

② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、「計画どおり順調に進んでいる」という評価が89%、「進んではいるが、スピードが遅い」という評価が11%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 高齢者福祉事業に関する啓発活動の目標回数が少ないように思われる。
- ・ 行方不明高齢者等捜してメールはもっと利用者、協力者を募集し、先細りしないよう注意すべき。
- ・ 家族に対するねぎらい手当支給の取り組みは町独自事業で素晴らしい。
- ・ 高齢者見守りネットワークの協定を結んでいる事業者や地域の人々をさらに増やし、町一体となって見守っていくことが必要だと感じた。
- ・ ねぎらい手当について、申請期間が短く感じられるため、現行の1か月間を延長するなど、必要としている人に行き届くような工夫も必要だろう。
- ・ 見守りネットワークについて、それにより高齢者を発見できた件数や、参加している町民の数等を把握し、その情報を町民にアピールするという方法も検討されてよい。

(2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」という評価が33%、「概ね適切」という評価が67%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 高齢者支援サービスの内容は素晴らしいと思うが、粕屋町の高齢者数を考えると、利用者が少ないように思われるので、積極的なアプローチの方策を検討してはいかがだろうか。
- ・ ケアマネージャーの育成、協力サポーターの増員などさらに取り組んでほしい。

(3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ 高齢化社会が進み、高齢者単独世帯や高齢者夫婦のみの世帯が増えているので、大変だと思うが積極的に取り組んでいただきたい。
- ・ 福祉事業に関する啓発回数は少ないように思う。ねぎらい手当、捜してメールなどの普及は介護サービス事業者と連携することで大幅に普及の見込みがあると思う。
- ・ 成年後見制度利用支援は事業の存在自体を知らず、どこに相談していいかわからない方も多いと考えられるので、定期的な周知を検討しては。

2. 本事業に係る外部評価のまとめ

高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、一人暮らしの高齢者の見守り活動、介護用品等給付サービスや在宅介護者ねぎらい手当等の多種多様なサービスを実施されており、施策実現への取り組みや進捗、内部評価の妥当性について、ほとんどの委員が「着実に取り組まれている」や「順調に進んでいる」、「概ね適切」と評価しており、現状の把握や課題の認識が正しくなされ、取り組まれていると考えられる。しかしながら、事業やサービス等に関する啓発活動の回数が少ないように感じる意見が多かったほか、申請方法や期間などサービスが行き届くよう今後の改善や対策が望まれる。

高齢者社会の進展により対象者や必要とするサービスが増え、さらに業務が増えていくことが予想されるが、今後も積極的に取り組んでいただきたい。

重点プロジェクト	魅力・誇り向上プロジェクト
事務事業名	かすやこども館運営管理事業
担当部署	住民福祉部 子ども未来課
事業目的	<p>1. 集う：こどもがつどい、子どもと親がつどい、子どもとボランティアがつどい交流を行う。</p> <p>2. 育む：(1)「遊ぶ」子どもが楽しみながら遊び、遊びから子どもの好奇心を育み、多世代との人間関係を育む。(2)「学ぶ」様々な学習や体験から、発見する機会をつくり、子どもの自主性や想像力を育む。</p> <p>3. 得る：子どもや子育て、学校や家庭での悩み等を、気軽に相談でき、必要な情報や支援を得て、安心を得る。</p>
実施方法	<p>○交流、学習、運動、体験の場の拡充を図るために、各種子育て等の講座の充実に努める。</p> <p>○講座等の利用者ニーズを把握するため、アンケートの回数を増やす。</p> <p>○ファミサポの講習会を新規の会員向けに3回実施する。新規で、現会員向けのフォローアップ研修を実施する。</p>

1. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）	
① 施策実現への取り組みが行われているか？	
着実に取り組まれており評価できる	78%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	22%
取り組みが不十分であり対策が必要である	0%
取り組みがなされていない	0%
② 施策の実現に向かって、進捗しているか？	
計画以上に進んでいる	22%
計画どおり順調に進んでいる	56%
進んではいるが、スピードが遅い	22%
進捗が見られない、または後退している	0%
(2) 内部評価の妥当性について	
適切	33%
概ね適切	67%
要検討	0%
無回答	0%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、「着実に取り組まれており評価できる」という評価が78%、「取り組まれているが、まだ改善の余地がある」という評価が22%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 利用者のニーズに応えられるよう、多種多様なイベントが開催されている。利用者数も多く、また利用者にアンケートを実施し、それを反映させている点も評価できる。
- ・ 子育て世代や若者の利用も多いため、スマートフォンを活用したアンケート方法が検討されても良い。
- ・ 利用者の増減はコロナ禍の影響であるため仕方ないと思われる。講座等順次再開していけば利用者数はもどるのではないか。
- ・ こども館での、様々な講演会や体験会など、子供だけでなく子育てをしている親を巻き込んで良い施策ができていたと感じた。
- ・ 子育て講座等の実施回数は少ない。コロナ禍前の講座を選別し、新規の計画を増やしたら良いと思う。
- ・ アンケート調査をするのであれば、話題やテーマ別に内容を提示し、アンケートに答えやすくしたらどうか。
- ・ ファミリーサポート事業の全会員数に対するまかせて会員数の割合 11%の実績値は低すぎる。

② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、「計画以上に進んでいる」という評価が22%、「計画どおり順調に進んでいる」という評価が56%、「進んではいるが、スピードが遅い」という評価が22%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、子育て講座や来館者が減少したのは仕方がない。今後の活動に期待している。
- ・ まかせて会員を増やすための工夫として、例えば、待遇（報酬）をアップさせるほか、ポイント制といったものを導入して一定のポイントになった会員に対して各種のサービス券（割引券）を与えるといった方法もあるかもしれない。また、活動実績を評価する仕組みがあってもよい（表彰など）。
- ・ まかせて会員数が伸びていないのが気になる。制度設計なども考え、まかせて会員が増えるような取り組みをしてほしい。
- ・ ファミリーサポート事業は働く親、ひとりで子育てをしている親などにとって、とても心強い事業だと思う。しかし、お願い会員よりまかせて会員が圧倒的に少ないように思える。啓発活動を活発にさせていただくことを願う。

- ・ ファミリーサポート会員同士のフォローアップ研修の回数を増やすことや、グループディスカッションや実践的な活動内容、質問を含めることで参加者同士が学びあえる多様な形式を用意することが必要。

(2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」という評価が33%、「概ね適切」という評価が67%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 各種イベントごとにアンケートを取られていることは良いことだと思うが、アンケート結果から分かった問題点、それに対する改善策などが必要。
- ・ まかせて会員数の増加という課題が明確であるため、その改善に向けた事業展開をしてほしい。
- ・ こども館管理運営・講座イベントについては、概ね評価できる。ファミリーサポート事業は、フォローアップ研修等の内容について、会員のやる気(活性化)を促すアイデアを考えてほしい。

(3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ まかせて会員の増加に関しては、企業や介護事業所、支援事業所など、企業単位で声掛けをすると会員になる企業もあるかもしれない。
- ・ 公共施設を使うなど、まかせて会員に子どもを預かる場所の選択肢が増えれば、まかせて会員の心理的な負担も減るのではないか。
- ・ こども館利用者は今後も増加が見込まれている。「第2こども館」建設の具体的な構想を示してほしい。
- ・ 国が表明している「異次元の少子化対策」に関連する事業として、子育て支援サービスを拡充してほしい。

2. 本事業に係る外部評価のまとめ

施策実現への取り組みや進捗、内部評価の妥当性について、ほとんどの委員が「着実に取り組まれている」や「順調に進んでいる」、「概ね適切」と評価しており、現状の把握や課題の認識が正しくなされ、取り組まれていると考えられる。改善の余地としては、子育て世代や若者に対するアンケート調査の方法や内容に関するものがあった。

また、多くの委員よりまかせて会員数の実績値が少ないことに対する意見が出された。ファミリーサポート事業は、働く親、ひとりで子育てをしている親などにとって需要の高い事業であるが、それを担う人材の確保という明確な課題があるようである。待遇や制度設計、官民連携や活動場所の選択肢などの改善点が出されているように、様々な点から検討の余地があると思われるため、今後の参考にしていただきたい。

■ 総 括 ■

本委員会は、町が実施する行政評価について、総合計画の進行管理を行い、客観性の一層の向上を図り、信頼性を確保するために、行政外部の有識者及び町民の視点で審議し、評価を行っています。

今回は第5次粕屋町総合計画後期基本計画2年目の行政評価となり、後期5年間のまちづくりにおいて、特に重点的に取り組むテーマとして定められた重点プロジェクトの「安全・安心プロジェクト」、「魅力・誇り向上プロジェクト」の対象となる6事業について、外部評価を行いました。

委員の評価においては、昨年度と比較し、施策実現への取り組みや進捗に対し、評価できるものや順調に進んでいると評価したものが多かったように見受けられます。内部評価の妥当性に関しても、検討を必要とするものではありませんでした。

全体的な意見としては、外部評価を実施するにあたり、重点とされている事業をじっくり評価することができ良いという意見があるものの、指標の設計や根拠に関して疑問点が多々あることや、会議の中で、業務内容に関して幅広く説明できる職員がいないことで質問の回答に時間を要していることに対して今後の改善を求められました。

また、各事業の内部評価の資料としてアンケート結果を活用されていることは説得的であり、評価できますが、調査方法として紙媒体のものが多く、Web アンケートの活用を進めるなど、改善の余地があるようです。

粕屋町の一層の発展へ寄与することに期待を寄せ、令和5年度粕屋町行政評価委員会の意見といたします。

粕屋町行政評価委員会 名簿

区 分	氏名		所 属
学識経験 のある者	◎	中島 邦彦	九州大学大学院 教授
	○	宗像 優	九州産業大学 教授
町の区域内の 公共的団体の 役員又は職員		山田 昌武	区長会 原町区長
		村田 匡繁	商工会
		八尋 汕子	文化協会 会長
		土居 あゆみ	スポーツ推進委員会
		久保山 淳一	社会福祉協議会
		長 千鶴子	子育て応援団 代表
公募等による町民		麻田 春太	公募委員
		神谷 武翔士	公募委員

◎=会長、 ○=副会長

粕屋町行政評価委員会 開催経過

令和5年度の粕屋町行政評価委員会の会議開催日・内容及び外部評価の経過等については、下表のとおりです。

回	会 議	内 容
第1回	日時：令和5年10月25日（水） 午後3時～5時 場所：粕屋町役場 31会議室	○行政評価制度の概要説明 ○外部評価対象の事務事業説明 ・災害対策事業（協働のまちづくり課） ・防犯対策事業（協働のまちづくり課） ○質疑応答
第2回	時期：令和5年11月1日（水） 午後3時～5時 場所：粕屋町役場 31会議室	○外部評価対象の事務事業説明 ・駕与丁公園魅力向上事業（都市計画課） ・歴史文化財活用事業（社会教育課） ○質疑応答
第3回	時期：令和5年11月8日（水） 午後3時～5時 場所：粕屋町役場 31会議室	○外部評価対象の事務事業説明 ・高齢者福祉事業（介護福祉課） ・かすやこども館運営管理事業（子ども未来課） ○質疑応答
第4回	時期：令和5年11月22日（水） 午後3時～5時 場所：粕屋町役場 31会議室	○外部評価シートの集計 ○外部評価総括